

「語りつぐ 10.23—ふるさとの大地と中越地震—」 出版記念祝賀会

まだ里にも雪が残る平成 19 年 3 月 10 日(土)午後 2 時から越路町商工会館にて出版祝賀会が行われました。

執筆された方々をはじめご協力支援をいただきました方々から長岡、三条、川口和南津、田麦山、小国法末と各地より 80 名の参加を頂きました。



中越復興市民会議：稲垣事務局長、大野長岡市復興管理官、深井長岡市越路支所長、体験を執筆された方々から出版された「語りつぐ 10.23」の冊子を手に祝辞と中越地震を振り返りながら、執筆にまつわるお話、その後の各地域での復興状況など報告頂きました。



執筆者の方々が初めて直接顔を合わせて交流を深める唯一のよい機会となりました。

また、ご自身の体験の掲載された体験集を手に皆さん感慨深い思いを抱かれ、追加で何冊も購入頂きました。



ご出席された方々からのお言葉の中で、心に残りましたのは、田麦山や小国法末の方々から「復興した村を是非見に来てください！！」との心強い言葉です。会場からは大きな拍手がわきおこりました。中越地震からはや 3 年がたとうとしておりますが、遅まきながらも一冊の記録として出版できました喜びと復興に向けての新たな決意を大勢の人々と分かち合うことが出来たこと、また、ご支援頂きました方々に心より感謝いたします。



新津「石油の里」巡検報告

例年の春巡検は半日の日程でしたが、今回は新津「石油の里」まで1日の日程で行いました。

5月12日は好天に恵まれたことと、石油の世界館友の会のご好意で小野沢副会長をはじめ大勢の先生方からご案内・詳しく解説していただいたことすばらしい巡検となりました。

参加者は定員いっぱいの45名、マイクロバス2台での巡検でした。新津に向かうバスの中では、本会顧問の山崎興輔先生と渡辺文雄先生から石油の里の見どころや途中の地形・地質解説をしていただき充実したものでした。

石油の里は、石油採掘に関わる多くの施設が残されていて魅力がいっぱいでした。時間の関係で全部を見学することができなかったのが残念です。

午前は2班に分かれて「石油の世界館」見学と世界館近傍の「石油の遺産めぐり」。午後は参加者各自が選んだ以下のコースを見学しました。

Aコース：「石油がしみでる地層」

Bコース：「断層と大昔の海底火山探検」

Cコース：「中野邸美術館と中野邸庭園見学」

各コースを以下の石油の世界館友の会の先生方からご案内いただきました。

小野沢正一氏（副会長）、渡辺其久男氏（副会長）、島津光男氏（顧問）、大野隆一郎氏（幹事）、坂井陽一氏（幹事）、庭田盛範氏（幹事）、中島哲宏氏（幹事：事務局）

①石油の世界館

石油の世界館は、地球と石油の誕生から石油採掘の歴史や石油開発・精製、石油の利用、そして地元の金津油田と掘削に関わった人々など石油に関することと人のかかわりを紹介する展示館です。小野沢先生の名調子の解説で理解が深まりました。



写真2 石油の世界館見学風景



写真3 上総掘りの模型



写真1 ご案内頂いた友の会の先生方



写真4 金津油田の昭和初期の様子を解説

②石油の遺産めぐり

ロマンの遊歩道ルート

石油の世界館周辺と南の小高い山には多くの掘削井戸をはじめとする石油関連施設が数多く保存され遊歩道が整備されています。

■石油井戸（綱式機械掘り・上総掘り）

遊歩道沿いには、多くの石油井戸がありそれぞれに番号がつけられ保存されています（C：機械掘り、K：上総掘り）。遊歩道沿いには12坑あり、明治37年（C-7）深さ229mから昭和13年（k-217）深さ94mとのことでした。



写真5 石油の掘削井

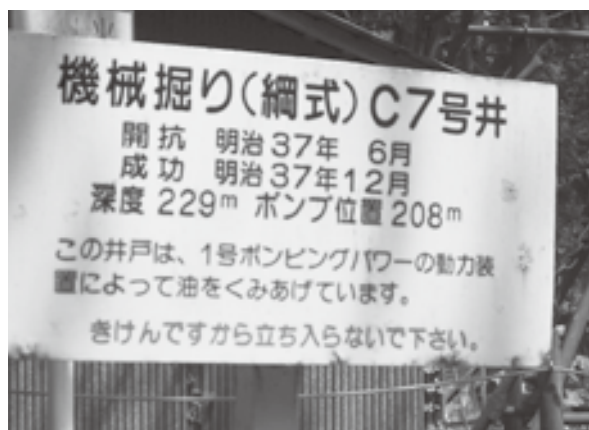


写真6 掘削井に設置されている表示板

■ポンピングパワーと継転機

ポンピングパワーは各石油井戸のポンプにつながれた引張線に往復運動を伝える動力装置で、この施設では6台の継転機を用い、同時に25坑の井戸に動力を伝えたとのことでした。

平成8年まで使用され、現在は停止したそのままの状態で置かれています。

案内していただいた先生は「貴重な施設であ

り産業遺産。このままで朽ちていく。何とか動かせる状態にしたいと思っているが、多額の資金が必要であり困難な状態」とのことでした。



写真7 ポンピングパワー(1)



写真8 ポンピングパワー(2)



写真9 引張線から複数の井戸に分ける継転機

■石油を含む地層（オイルサンド）

遊歩道脇の崖では石油を含む地層が観察できます。約500万年前に海で堆積した金津層（砂岩と泥岩の互層）と命名された地層で、この砂岩は石油を含み「オイルサンド」と呼ばれています。この石油を含む金津層が新津には広く分布しているとのことでした。